



路線バスの行くえは……

立合線9月30日で廃止。日吉線61年9月まで運行

路線バスの種類

バス路線の種類と内容	該当路線名	昭和五十九年度補助金額
第一種生活路線 平均乗車密度が十五人を超える路線、又は一日の運行回数が十回を超えるもので、バス事業者自らの採算で維持するもの。	該当なし	
第二種生活路線 平均乗車密度五人以上十五人以下及び、一日の運行回数が十回以下の路線で、路線維持のため赤字となった金額を国・県・町が同率で助成して行くもの。	干潟線(横芝—光—八日市場—干潟) 栢田丘線(横芝—木戸十字路—野手—八日市場) 栢田浜線(横芝—木戸浜十字路—野手浜—八日市場) 成東線(成東—横芝—光—八日市場—旭)	四五万六、二〇七円 二〇九万 五九五円 二二八万 一〇三円 七六万八、一四九円
第三種生活路線 平均乗車密度が五人未満の路線で路線維持のため赤字となった金額を国・県・町が助成対象(第三種生活路線)に指定されてから三年を限度に助成する路線で、補助率は町が赤字分の二分の一、国・県がそれぞれ四分の一で、町が莫大な補助負担をしていく路線。	立合線(横芝—木戸浜—立合—横芝) 日吉線(横芝—篠本二区—八日市場) 貝塚線(八日市場—貝塚—篠本二区)	三七万五、六一八円 二五一万二、一〇七円 四四万二、四八二円 (合計 八九二万五、二六一円)

みなさんの生活の足、千葉交通乗合バスは町内交通の主役です。ご承知のとおり近年は、自家用車やミニバイクの普及等により年々利用客が減少しています。このためバス会社は、赤字経営となり経営の合理化やサービスの改善に努めています。各路線とも運行維持が難しくなっています。現状です。そこで、国・県と共に町では路線維持のためバス会社に助成を行い、運行を確保してきました。現在、町内に運行されているバス路線は七路線あり、全路線が赤字路線です。町は、毎年莫大な補助金の助成を行ってきました。(別表参照)

しかしながら、依然として利用者が少ない第三種生活路線は、制度により三年を限度に補助金が打ち切られることから、日吉線、立合線の二路線が本年九月三〇日を以って廃止されることになっておりますが、町としてはこの廃止路線について関係市町である八日市場市・横芝町と十分協議した結果、立合線は、栢田浜線と栢田丘線の利用が可能であることから廃止することに決定いたしました。

日吉線は、町上部への唯一の路線であること等に鑑み、関係市町である八日市場市、横芝町の協力を得て六十一年九月までの一年間運行していくことになりました。しかし、日吉線の運行のみで、昭和六十一年度の補助額は八百十六万円(推定)となることから、本年十月以降、運行回数を現在の一日五回を三回に減すことになりました。また、運行を減しても推定で一年間に約五百三十万円の補助金の負担が強いられることから、前述したと



おり一年間の利用状況等を見て、廃止するか否か検討することになりました。

今後、町内を走る他のバス路線も年々乗車率は低下するものと見込まれることから廃止される方向にあります。地域のバスは、通勤、通学、買物など日常生活に欠くことのできない重要な足だと思えます。自家用車があっても運転出来ないお年寄りや子供達のためにもバス路線を維持しなければなりません。みんなで利用して「地域の足」バス路線の存続に努めましょう。

まず注意 人は車に 車は人に